

論文要旨

所属ゼミ	高木 研究会	学籍番号	80128893	氏名	八木 陽一郎
(論文題名)					
新たな文脈創造による自律的キャリア構築 - 認知発達段階の考察を通じて -					
(内容の要旨)					
<p>この数年で終身雇用や年功序列といった企業による個人のキャリア支配の仕組みが崩れ、個人にとって自身のキャリアをいかに構築するかが大きな問題として取り上げられるようになった。</p> <p>本論文においてはビジネスマン12名へのインタビューを通じキャリア発達のあり方を調査し、生涯発達心理学の理論群による分析を行った。</p> <p>その結果、自律的なキャリア構築を行うためには認知的な発達が不可欠であることがわかった。それは、環境と個人を相互交渉的な要素として含む1つの文脈として統合的に認知しうる段階に至ってこそ、自らのアイデンティティを保ちながら環境を積極的に再構成しうるということである。</p> <p>また、成人期におけるこのような認知発達には、質的に異なる3つの認知段階を経ていくことが必要であるということが判明した。それは、1)仮説的な思考を用いて理想を形成する空想的認知段階、2)環境に存在する現実的な制約を知り、実際的な思考を発達させる現実思考的認知段階、3)キャリアを自分自身の内的な要素と、環境側の外的な要素が影響を及ぼし合いながら進行する文脈として捉えられる統合的認知段階、の3段階である。</p> <p>自律的なキャリア構築に向けて、これらの認知段階を理解することが重要であることを指摘し、個人が新たなキャリア文脈を創造するために遷移と策動を行うことを提言している。</p>					